

# 22年度決算報告

## 総額は91億円

平成22年度の決算が、町議会9月定例会で認定されました。決算の概要からみた町の財政状況についてお知らせします。

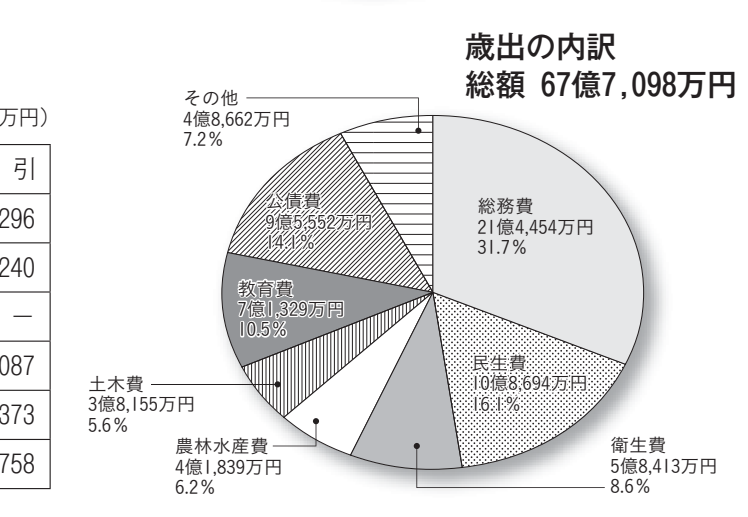
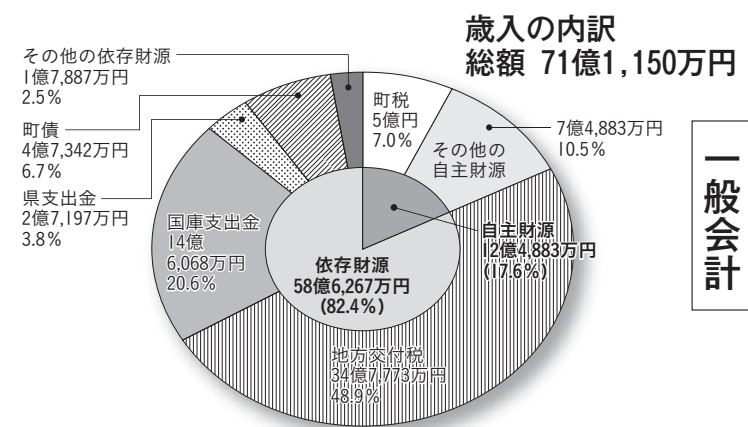
町は、皆さんが納めた税金や国、県からの交付金などを有効に活用し、住みよいまちづくりの実現に向けて各種事業に取り組みました。



雨のため今年の葛巻小運動会は、新しい体育館で行われました

一般会計と特別会計を合わせた決算額は91億3519万円となり、前年度を10億6112万円（13・1％）上回る規模です。

一般会計の歳入の総額は71億1150万円で、前年度に比べて11億2878万円（18・9％）の増となりました。最も増加したのは国庫支出金で、地域活性化・経済危機対策臨時交付金などにより7億9255万円（118・6％）の増となっています。歳入全体の48・9％を占めます。地方交付税は2億1214万円（6・5％）の増となり、平成20年度以降3年連続で増加しています。歳出の総額は67億7098万円で、前年度に比べて12億1296万円（21・8％）の増となりました。主なものは総務費が地域情報化基盤整備



区分	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業会計	112,404	112,700	△296
簡易水道事業会計	19,003	17,763	1,240
老人保健会計	86	86	—
農業集落排水事業会計	21,533	20,446	1,087
後期高齢者医療事業会計	6,795	6,422	373
国保病院事業会計	89,762	79,004	10,758

<b>■総務費</b>	8億3,622万円
・地域情報化基盤整備に	913万円
・公共施設などテレビデジタル化に	774万円
・合併55周年記念事業に	214万円
・新エネルギー等導入に	
<b>■民生費</b>	8,569万円
・子ども手当の支給に	362万円
・町ぬくもり助成に	
<b>■衛生費</b>	1,015万円
・インフルエンザ予防接種に	
<b>■労働費</b>	418万円
・高齢者雇用促進に	390万円
・若者雇用促進に	
<b>■農林水産業費</b>	597万円
・削蹄費助成に	170万円
・乳用牛（初妊牛）導入に	164万円
・自給粗飼料生産拡大モデルに	6,707万円
・体験交流補完施設、広場整備に	609万円
・森林保全特別対策に	440万円
・高齢者世帯等水洗化普及支援に	2,229万円
・地区センター水環境整備に	
<b>■商工費</b>	1,326万円
・企業立地促進奨励に	200万円
・中心市街地活性化に	
<b>■土木費</b>	9,046万円
・町道8路線道路改良に	2,297万円
・町道橋りょう長寿命化に	2,778万円
・河川など災害関連に	2,730万円
・町営鳩岡住宅長寿命化に	
<b>■教育費</b>	2億9,809万円
・葛巻小学校屋内運動場整備に	
<b>■災害復旧費</b>	8,249万円
・公共土木施設災害復旧に	1,206万円
・農地災害復旧に	



楽しくいきいきみんなで体操（福祉大学開講式）

区分	年度末現在高	年度中の増減
財政調整基金	57,226	△4,976
町債減債基金	50,988	20,014
地域づくり振興基金	27,748	8,122
公共施設等整備基金	85,023	50,023
主要4基金合計	220,985	73,183

区分	年度末現在高	年度中の増減
一般会計	635,330	△37,948
国民健康保険事業会計	1,500	△1,500
簡易水道事業会計	95,560	△4,155
農業集落排水事業会計	170,806	△3,244
国保病院事業会計	4,831	334
全会計合計	908,027	△46,513

## 町議会9月定例会で選任されました



**副町長**  
**觸澤 義美さん**  
 (62歳、田子)  
 再任。任期は平成23年10月1日から4年間です。

**教育委員**  
**千葉 洋一さん**  
 (73歳、茶屋場)



再任。任期は平成23年10月1日から4年間です。



**固定資産評価審査委員**  
**野表 儀昭さん**  
 (65歳、田子)  
 新任。任期は平成23年10月1日から3年間です。

## 【財政健全化法に基づく指標の公表】

平成22年度決算における財政健全化法に基づく各指標は、いずれも法に定められている基準を下回りました。財政健全化法では、各指標に一定の基準（早期健全化基準、財政再生基準、経営健全化基準）が設けられ、この基準を超えた場合には、早急に財政健全化を行うこととされています。

各指標	H22	H21	比較
実質赤字比率(15%)	赤字なし	赤字なし	—
連結実質赤字比率(20%)	赤字なし	赤字なし	—
実質公債費比率(25%)	13.1%	15.3%	△2.2%
将来負担比率(350%)	18.1%	44.0%	△25.9%

※( )内の％は各指標の早期健全化基準です。数値が低いほど健全な財政運営をしていることになります。平成21年度の県平均は、実質公債費比率が16.0%、将来負担比率が116.4%です。

●各公営企業の資金不足比率  
 簡易水道事業、農業集落排水事業、国保病院事業のいずれの公営企業とも資金不足は生じていないので、資金不足比率はありません。（※経営健全化基準は20%です。）